



文教大学 父母と教職員の会

会報107号

発行 文教大学父母と教職員の会 発行日 平成25年4月1日
〒343-8511 越谷市南荻島3337
越谷 ☎048-974-8811 FAX. 048-977-7791
湘南 ☎0467-53-2111 FAX. 0467-54-5721
ホームページ <http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/> e-mail fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp



卒業式（右上・左下：湘南キャンパス・左上・右下：越谷キャンパス）

目次

卒業される皆様へ	…2
25年度入学試験状況報告	…3
ご退職される教職員のみなさまへ	…4～5
新学長・新学部長ご挨拶	…6～7
都道府県のページ (第17回兵庫・大阪・奈良支部)	…8
支部を訪ねて	…9
支部派遣教職員報告 その⑨	…9
学内訪問「どんなところ?」	…9
湘南校舎 図書館	…10
平成25年度 父母のための一日大学スケジュール	…10
年間行事予定(越谷・湘南) シリーズ③「学長から」	…11
「文教大学での35年の 教員生活で考えたこと」	…12
学生活動紹介	…12
弓道部(越谷)	…13
学友会(湘南)	…13
教職員による出版物のご案内	…14
生涯学習センターからのお知らせ	…15
アクセスしなくなる HPを目指して	…16
保護者説明会(国際学部)	…16
課外活動表彰者一覧	…16
お知らせ	…16

平成二十四年度 卒業式

卒業される皆様へ

会長 高橋 一弘



皆さん、ご卒業
おめでとうござい
ます。心からお祝
い申し上げます。
そして保護者の

皆様、本日はひとかたならぬお慶び
を感じていらっしゃるのと重ねて
お祝い申し上げます。

さて、東日本大震災から2年を経
過した今も被災地の復興はまだ続い
ており、卒業生の中にも、悲しい経
験をされた方々がいらっしゃること
に改めてご冥福をお祈りいたします
とともに、被災された皆様にお見舞
いを申し上げます。

卒業に際し私からお願いをさせて
いただきます。それは私が生まれた
昭和30年頃、大学への進学率は、僅
か8%しかありませんでした。それ
が昭和40年頃から20%を超え、平成
10年に40%、平成20年に50%で、今
年は何と69%を超え、若い人の7割
が在学中に成人を迎える時代です。
最近、社会人基礎力と言う言葉が
あります。これは「職場や地域社会
で多様な人々と仕事をしていくため

に必要な基礎的な力」と平成18年に
経済産業省が定義つけた3つの力の
ことを言います。昭和30年頃は、9
割の成人が既に就職しており、この
力は、自然と上司や先輩から伝授さ
れました。ところが現代では、大学
で高度な教育を受け仲間とは上手く
生活してはいますが、この力を具体的
には体得してはいません。

そこで、皆さんには、この3つの力
を少しでもご理解いただき、社会で
役立てて欲しいと思っています。

それは、まず「一歩前に踏み出
し、失敗しても粘り強く取り組む
力」です。物事に進んで取り組
み、他人を巻き込み、目標に確実に
進む力です。

それと「疑問を持ち考え抜く
力」です。現状を分析し課題の解決
にきちんとしたプロセスを打ち出し
新しい価値を生み出す力です。

最後に「多様な人々と目標に向け
て協力して行ける力」です。自己表現
力が高く、相手を良く理解し、合わ
せられ、場を読みルールを理解で
き、人との約束を守れるという力で
す。

大学では、実習でかなり近いこ

とは経験しているでしょう、しか
し、現実社会を味わうことは不可能
でこの3つの力を試すことはできま
せん。そこで、実際にこの力を良く
理解され発揮されているのが、皆さ
んの一番近くにいる社会人基礎力を
しっかりと経験されたご両親です。

皆さんを育てたご両親は既に皆さ
んの何十倍もの基礎力をお持ちです
から、今後は、ご両親をはじめとす
る現実社会の皆さんから社会人基礎
力を分けて貰う努力をしてくださ
い。

そして保護者の皆様、学力や体力
は昔の杵柄も少し痛んでいるとは思
いますが、社会人基礎力は絶対負け
ないと思います。お子様と良くコ
ミュニケーションを取っていただ
き、しっかりとその力を授けていた
だきたいと思えます。大人になれば
なるほどご両親の力が現実として解
つてくると思えます。

終わりになりますが、保護者の皆
様には、4年間父母と教職員の会に
ご理解ご協力をいただきまして誠に
ありがとうございます。改めて御
礼を申し上げますとともに、卒業生
の皆様方の益々のご活躍とご家族皆
様方のご健勝と文教大学の益々のご
発展を祈念いたしまして、お祝いの
言葉とさせていただきます。

おめでとうございます。

ご卒業おめでとう

◎ 大学院	言語文化研究科	13名
	人間科学研究科	27名
	教育学研究科	4名
	情報学研究科	3名
	国際協力学研究科	6名
◎ 専攻科教育専攻科		0名
◎ 外国人留学生別科		9名
◎ 教育学部	学校教育課程	293名
	心理教育課程	114名
◎ 人間科学部	人間科学科	146名
	臨床心理学科	139名
	心理学科	125名
◎ 情報学部	情報システム学科	143名
	経営情報学科	145名
	広報学科	144名
◎ 文学部	日本語日本文学科	146名
	英米語英米文学科	121名
	中国語中国文学科	106名
◎ 国際学部	国際コミュニケーション学科	1名
	国際関係学科	1名
	国際観光学科	140名
	国際理解学科	130名

25年度 入学試験状況報告

入試は無事終了

入学センター副センター長

佐久間 拓也

2013年度文教大学入学試験は、昨年8月に実施されたAO入試に始まり、今年3月のセンター利用入試3期で無事終了いたしました。

入試は受験生やご家族にとってはもちろんですが、大学にとっても教職員総動員の大事な仕事です。入試問題や試験監督などで間違いが無いようにと細心の注意を払って入試を実施していきます。

今年度は、地区入試とA日程1期で同一日併願制度が一部の学部で始まりました。これは、1日の試験で複数の学部・学科を受験することが出来る制度です。特に地区入試は全国各地にある試験会場で受験することが出来るため、受験生に大きな負担を掛けずに複数の学部・学科に志願できるようになります。

今年度の入試の結果は、下の表のようになりました。6学部全体で約

18,100名の志願がありました。前年と比べるとすべての学部で増加し、全体で約6%増となりました。この理由は、いわゆる「隔年現象」だけでなく、最近の受験界全体の傾向である「地元志向」「安心思考」(近くの大学や自分にとって安心できる大学を志望する傾向)のあらわれではないかと思えます。文教大学が地元から愛され、しかも全国からも安心して進学できる大学と認識されていると感じます。

また昨年度から引き続き、地区入試では各募集単位で入試成績上位者の1〜2名を特待生とする制度や東日本大震災で影響を受けた受験生に対して検定料を免除する制度を実施いたしました。受験生や保護者の皆様にとって、安心して受験し進学を考えられる制度になっていると思われまます。この制度を活用した新入生が学びをリードする核となり、ひいては社会で活躍していただけるものと期待しております。

入試を経て、今年もすばらしい新入生を多数迎えることが出来ました。これからも、優秀な学生の確保に努力と工夫を続けてまいります。今後とも変わらぬご協力とご支援を

平成25年度 文教大学入学志願者数

学部	学科・課程・専修・コース	入学志願者数							
		AO入試	推薦入試	地区入試	大学入試センター試験利用入試	付属高校対象学力入試	A日程入試	B日程入試	合計
教育学部	国語専修		44	146	320		675		1,185
	社会専修		44	200	273		755		1,272
	数学専修		27	254	370		828		1,479
	理科専修		14	119	250		473		856
	音楽専修		26	40	46		120		232
	美術専修	18	2	10	45		33		108
	体育専修		34	81	94		373		582
	家庭専修		12	42	89		154		297
	特別支援教育専修課程計	15		63	103		228		409
	課程計	18	218	955	1,590		3,639		6,420
心理教育課程	児童心理教育コース		48	136	214		524		922
	幼児心理教育コース		53	103	143		392		691
	課程計		101	239	357		916		1,613
学部計		18	319	1,194	1,947		4,555		8,033
人間科学部	人間科学科		73	140	347		493	103	1,156
	臨床心理学科		54	155	346		448	62	1,065
	心理学科		92	160	436		480	79	1,247
	学部計		219	455	1,129		1,421	244	3,468
文学部	日本語日文学科		90	86	370		452	85	1,083
	英米語英米文学科		72	120	433		433	60	1,118
	中国語中国文学科		59	43	113		115	28	358
	学部計		221	249	916		1,000	173	2,559
情報学部	広報学科	20	50	61	297	1	148	43	620
	経営情報学科	15	62	41	269	1	135	31	554
	情報システム学科	33	60	42	236	2	161	29	563
	学部計	68	172	144	802	4	444	103	1,737
国際学部	国際理解学科	6	55	71	362	3	212	35	744
	国際観光学科	14	59	82	305	4	276	34	774
	学部計	20	114	153	667	7	488	69	1,518
健康栄養学部	管理栄養学科	47	93	59	196		294	79	768
合計		153	1,138	2,254	5,657	11	8,202	668	18,083

お願い申し上げます。最後になりましたが、本年度の入試にご協力いただき

いた皆様にご心より感謝いたします。どうもありがとうございました。

ご退職される教職員のみなさまへ

事務局長 惠羅 博

年度末を迎え、ご退職なさる教職員の皆様をお送りする季節となりました。その中には、父母教の顧問であられる大橋学長を始め、運営委員や事務局協力員として協力をいただいた方々がおられます。また、派遣教職員等で父母教に貢献していただき、多くの会員ご父母と交流していただいた先生方もおられます。本年はとりわけ父母教と縁のある方々が多く去られる感があります。全員とはいきませんでしたが、何人かの方々から、お別れのメッセージをいただきました。永年のご貢献を感謝し、これからの第二の人生で益々ご活躍されることをお祈りいたします。

ご活躍を
アドバイスを
活動に生かします

文教大学 ありがとう

文教大学学長 大橋 ゆか子



学長在任中、父母と教職員の会の皆様が、大学を温かく見守り、支えてくださったことを実感しました。心から感謝しております。

このような組織を、父母と教職員が共同して運営することは難しいのですが、役員の皆様の熱心な取り組みで地区毎にいろいろな企画が実施され、会員の皆様が積極的に参加してくださる現在の状況を、これからも維持していただきたいとお願い申し上げます。

大学は在学生のためだけに存在するのではなく、卒業生にとっても第二の故郷であると思っております。今後も本会が発展していかれることを祈念いたします。

退職にあたって

教育学部 西 義一



小生は、文教大学教育学部に28年間在職し、多くのことを学ばせていただきました。

人間は、皆、全てのこと、自分の概念を抱いています。それらを自分の「普通」と呼び、生活や、思考の基準としているようです。教育は、その普通に新たな息吹きを加えるものかと思えます。つまり新たな概念の移植や拡大、変換、成長です。音楽は、知識のみならず、実践を伴います。このバランスがとても大事なことと思います。小生は知識と実践を教える姿勢として、「人は師の背中を見て成長する」と何かの本で見かけ、これを励行することで、教育に携わってきました。

以上が文教大学で学んだことです。ありがとうございました！

創造力こそ大切に

教育学部教授 中川 素子



教育学部設置時の美術専修は、一年生が5名で、教員が1人と助手である私のみであった。男女共学になり、校名も立正女子大学から文教大学へと変わる中、美術は旧11号館↓5号館↓6号館↓12号館(旧幼稚園舎)↓新12号館へと4回の引っ越しをしてきた。40余年には、さまざま

な事があり学生達の気質も変わってきたが、美術の創造力は引き継がれている。この創造力こそ、今の教育界には不可欠であることを、お世話になった父母教の皆さまと共に、再度確認できたらと思う。



大橋先生をかこんで

人間愛の大学を支える父母教

文学部教授 謡口 明

23年前に文教大学に赴任し、父母と教職員の会に参加してみても、学生一人一人を大切に育てる大学だと感動しました。その理念に賛同し、今は亡き蒲生不二男先生と支部総会への出席数を競うほど、全国めぐりをさせて頂きました。今年のNHKの大河ドラマの「八重の桜」で脚光を

ますますの 先生方からの

だとか、企画の仕事がしたいなどと企業に対して夢を抱く。どのような就職先であつても、そこへ入つて社会のあり方を学ぶことが大切である。消費者主導の新たな経済が支配する現代社会のなか、古い体質にこだわる親の世代が学生の自信を失わせているのかもしれない。

国際的人道活動の実践

国際学部教授 中村 恭一



私の国際学部着任は2001年4月。同年9月、セ

あびる会津では、洪川問屋のいりり端での懇談会が懐しく想い出されます。青森・福島3支部・栃木・群馬・富山・和歌山・島根・鳥取など多くの支部の皆様と、父母と教職員の会の益々の御発展を祈念しつつ、御世話になった御礼を申し上げます。

退職にあたって

国際学部教授 小坂 勝昭



19年間の文教大
学での教育・研究
を終え定年を迎え
ることになった。

中国の環境問題を研究し、ゼミでは、就職に迷い、社会を甘く見ているような学生を叱咤激励してきた。そんな中、有能な国際学部の女子力に救いを感じた。セールスは厭

の弾圧から解放されたコンボで、現地支援の国際協力活動をゼミ1期生たちと行った。その帰路のウイーン空港でニューヨークの大惨事9・11を知った。2011年3月11日、東日本大震災が発生。ただちに私のゼミ生たち（最後の11期生）が先頭に立って、宮城県石巻市河北地区で、被災者支援活動を行った。10年間は世界各地で、最後の2年間は国内での人道活動の実践だった。国際学部学生の熱意と行動に打たれ続けた12年間だった。

父母教との想い出

大学事務局参与 鈴木 祐司



学園に勤務して
43年、大学勤務35
年でした。

昭和53年越谷校舎へ法人より異動し、特に学生生活、課外活動の支援をして、学生達とともに歩んできました。課外活動援助金・課外活動表彰などにおいては父母教の多大なるご理解のもと、ご支援をいただいたことを感謝しています。毎夏行われる各支部総会にも出席させていただき、特に宮崎県支部では支部長の米丸先生（大学の大先輩）には大変お世話になりました。鹿児島支部と合同で行



ご退職される皆様方

つたえびの高原での総会が思い出に残っています。

お子様を遠方より関東まで進学させて不安が多いと思えますので、今後、益々父母教の役割は重要です。支部活動を活発化し、学生・大学の現状をお知らせし、大学と父母とのパイプ役を今後もはたしていただきたく、宜しく願います。ありがとうございました。

父母教の思い出

大学事務局参事 高島 修



平成3年に亡き蒲生先生が事務局長に就任してから支部総会に参加し

て個人相談を担当しました。お母さん方からはうちの子の成績は大丈夫ですか？とか就職はどうなのでしょう？と時間が過ぎても熱心に質問されました。また、学生への課外活動等への援助・救済等ではいろいろお世話になりました。これからも学生・大学への支援等をよろしくお願いたします。

今後とも各支部並びに父母教が一層発展されることをお祈りしています。

新学長・新学部長ご挨拶

ゆいせいのこころ、着実に

新学長 野島 正也



この4月から学長を拝命しました。前学長の大橋先生にごあいさつ

に伺ったとき、私は「先生のようにはとてでもできませんが、一所懸命やらせていただきます」と申しました。すると大橋先生は「そんなことはありません。先生のフットワークはたいしたものですよ」とおっしゃられました。

世の中には社交辞令というものがあることは承知していますが、ふだん誠実な物言いをされる先生のお言葉でしたので、そのまま受け止めさせていただきました。今後はこの「フットワーク」を磨いて大学運営に役立てようと意を新たにしました。

今後の文教大学で実現したいと思うのは、一言でいえば、学生に「キャンパスに行くのが楽しい」という気持ちで、学生満足度ナンバーワンの大学です。

満足度の決め手は、次の二つで

す。一つは授業やゼミで新しいことがわかり、身につくこと。もう一つは仲間と心弾むコミュニケーションがあること。つまり、学びと人間関係です。

授業やゼミについては、教育や指導の方法について改善の努力を続け、ゆくゆくは世間から「教育の文教」という評価をもらえるようになりたいと思っています。

人間関係については、授業、部活動、サークル活動、イベント、昼休みなどの折に学生同士や、学生と教職員がフェイス・トゥ・フェイスで会話を楽しむことができる環境を積極的に作っていききたいと思っています。

加えて、学外との連携・協力を進め、学生がボランティア活動、インターンシップ、海外研修・留学などで社会性を高めていく機会も増やしていきます。

こうした試みは一朝一夕で進むわけではありません。あせらず、ゆっくりでいいから着実に、という気持ちで取り組んでいきたいと思っています。

父母と教職員の皆様には、今後とも、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

学生の満足感と校風

教育学部長 太郎良 信



教育学部の学生たちの多くは、教員や保育士になることをめざしています。私たち教員

は、子どもたちを学び育つ主体としてとらえることのできる教育者を育てたいと考えています。ただ、教育実習や保育実習等の場面を別とすれば、私たちの思いが学生たちにとどのよう受けとられているかを検証する手立てはそんなにありません。

昨年秋のことです。ある女子学生が入学半年の感想として「たった半年過ぎの在学中で、最良、最高の選択をしたと自信をもって言える。理由は、教えるだけの教師を目指そうと思う人間が周りにいないからだ」と、ある冊子に書いていました。注目したいのは、理由として記されている内容です。自分の理想があり、周りの者も類似した考え方を示している、こうした場で学ぶことを選択した自分に満足しているということとを言ってくれています。

こういうことに満足を感じてくれる学生がいる。そしてその学生を満足させてくれる学生がいる。こうしたことは、教育学部が培ってきた校風によるものと思われれます。

人間愛と人間科学

人間科学部長 谷口 清



野島新学長の後任として人間科学部長を拝命しました。本学部は設立

37年、本学では2番目の学部です。本学の建学の精神「人間愛」を直接教育・研究テーマの一つとしています。私自身は、人間愛の実現は共生社会の実現と同義と理解しています。

大津のいじめ自殺事件をきっかけに、今いじめ問題の克服が大きな課題となっています。体罰も虐待防止もゆるがせにできない問題です。

これらは戦争・テロを含め、暴力・威力による人の支配をやむを得ないと考えるかどうかに関わります。男女差別等、社会発展に伴い克服されてきた様々な差別同様、虐待・DV・体罰・いじめなどの威力による支配の排除は人の価値観、行動規範に関わる文化問題です。

威力による支配は対立を生み、探求心を損ないます。探求心に基づく発展的関係、新たな文化を担う人材の輩出のために、微力ながら力を尽くしたいと思っています。よろしくお願ひします。

文学部へようこそ

文学部長 磯山 甚一



文学部は設置されて四半世紀を経過しました。多くの先輩教職員のご尽力と、

活躍する卒業生諸君あつてこそ今日です。一人ひとりの学生を大切に
して教育と研究に打ち込む文学部の
精神は、若い先生方に受け継がれて
います。

文学部は教育学部が母体となった
ことで、いまでも教員養成が大きな
特徴です。毎年、最も多くの割合の
卒業生が教壇に立ちます。

そのような卒業生を追うように、
教職を目指す学生を毎年多く迎えて
いますが、文学部はまた、幅広い分野
の人材育成にも取り組んできました。
彼らは入学するとすぐ、同級生や先輩
を交えて、自分の希望する進路につ
いて、その道に進むには大学で何を
すればいいか、将来を語り合う友人
を見つけることができるでしょう。

真剣に取り組むことで、文学部で
の勉強は必ず役立ちます。

学生諸君には、このような学びの
環境に身を置き、自分の将来に向け
て充実した学生生活を過ごされるよ
う心から願っています。

情報学部をよろしく願っています

情報学部長 飯野 守



この度、情報学
部の学部長を務め
させて頂くことにな
りました。父母

教では3年間事務局次長を務めさせ
て頂いたこともあり、多くの支部に
お邪魔しました。そして、会員の方々
と直接お話をする中で、実に多くの
方が文教大学を支援してくださって
いるということを実感しております。
す。父母教は私たち教員にとっても
大事な会です。学部としてもでき
るだけ密な関係を保っていきたく
と思っております。

さて、私たちの学部は1980年
に日本で初めて設置された情報学部
です。設置以来30有余年。社会が大
きく変化していることは言うまでも
ありません。情報学部の歴史を継承
しながら、現代という時代の求めに
応じた学部、何より学生の皆さんに
入学して本当に良かったと心から感
じてもらえる学部として発展させて
いくため微力を尽くすこと。私の役
割はこの辺りにあるのだと考えてい
ます。これからもご支援をよろしく
お願いします。

「為すべきことを成したい」
—国際学部の志

国際学部長 奥田 孝晴



4月より学部長
を拝命いたしました。
を。宜しくお願
いたします。「有為

なる国際人」、「国際舞台に飛躍でき
る人材」、「健全な批判精神を備えた
地球市民」の育成を教育目標として、
国際学部は日々の実践を積み重ねて
おります。志を遂げるには「学部の
すべての教員がすべての学生とつき
あう、面倒を見る」という覚悟が不
可欠であり、この教育姿勢に「ブレ
を生じさせたくはありません。

学部は2015年に開設25周年を
迎えます。現在はそれを目途として、
これまでの教学実践を総括するとと
もに、到達した国際学研究所の学術水
準を世に問うべく、ジュニア新書版
の入門書と学術叢書の刊行に教員一
同で取り組んでいくことを企図して
います。今後とも、ご子弟の成長と
人格の完成にまい進してまいります。
保護者皆様のご支援・ご協力を
心よりお願い申し上げます。

完成年度を迎えるにあたって

健康栄養学部長 中島 滋



健康栄養学部長は
文教大学で最も新
しい学部ですが、
前身である女子短

期大学部健康栄養学科では、約50年
にわたり栄養士を養成してきました。
た。文教大学健康栄養学部は短期大
学部のこれらの実績を基盤とし、社
会のニーズに応える新学部として3
年前に誕生しました。これまでの管
理栄養士は糖尿病などの病気を有す
る人への対応に重きが置かれていま
したが、これからは、病気を未然に
防ぐ予防医学（一次予防）も重要な
仕事になります。また、栄養士や管
理栄養士の仕事は人を対象としま
す。そこで、対象者の心理状態を把
握し、適切に対応する知識・技術が
必要となるため、「ココロを育む科
目」を設定しました。この様に、こ
の学部では、次世代の栄養プロフェ
ッショナルである「カラダとココロ
の健康を育む管理栄養士」を養成し
ています。今年度は完成年度であ
り、1期生は国家試験を受験しま
す。全員が国家試験に合格し、希望
通りの就職ができるよう、万全の対
策で臨みたいと思います。

都道府県支部のページ

第17回 兵庫・大阪・奈良支部の巻

「地元阪神タイガース」 兵庫・大阪・奈良支部長 石田 雄三



現在、生まれ故郷の神戸に住んでおりますが、大学を卒業してから東

京本社の企業に長年勤めておりました。その為、今でも首都圏の地理の方が詳しい様でもあります。ただし、物心ついてから根っからのタイガースファンであります。

昨年の11月10日～11日の両日に開催された支部長研修会出席の為に初めて湘南キャンパスに伺いました。昨年の9月初旬に恵羅事務局長と神戸での懇談会でお話しできたのがきっかけとなりました。その後、空席になっていく支部長職への要請を受けていました。

私の場合、実際には父兄ではなく留学生C君の身元保証人としての立場で「父母と教職員の会」に参加しております。その為、一般の学生さんの父兄よりも幾分かは年を取り過ぎております。再三、ご辞退申し

上げたのですが、事務局長はじめ皆様のご助言もあり支部長職をお受けいたしました。

3年前に、神戸において留学生C君から進学の相談を受けた時に、大阪の大学を受験するより、将来の事を考えて首都圏の大学を受験するように勧めました。その結果、文教大学情報学部に進学することになりました。彼の入学後、間断なく大学の広報誌や会報が手もとに届くようになりました。地元の国立大学に勤務する友人にそのことを説明したら、非常に驚いていました。きめの細やかな大学側の配慮に敬服した次第です。そのような状況の中で昨年9月の父兄懇談会が神戸で行われました。恵羅事務局長がわざわざ神戸まで来てくださり、留学生C君の近況まで伺うことができました。まさに、感謝でありました。

11月の「全国支部長研修会」は湘南キャンパスで行われました。感激

したのは大教室から富士山がくつきりと見えたことでした。その日は空が晴れ渡り、JR茅ヶ崎駅からも富士山が見えていました。13時から受付でしたが、事務局の方々にご心配いただき、新支部長としての心得など細々したことについて事前のレクチャーを受けました。

午後からのオリエンテーションの大教室に入って目を奪われました。眼の前に白い富士の峰が見えるではありませんか。思わず持っている携帯電話のシャッターを切りました。何かットか収めました。性能のよいカメラではないのですが、はつきりと写せました。休憩時間にキャンパス内を散策しました。こじんまりとしてはいますが整然として恵まれた教育環境であることに嬉しさがこみ上げてきました。自分自身の学生時代を振り返りますと時代が時代だけに決して満足の行く環境で育ったわけではないので文教大学のキャンパスには感銘を受けました。留学生C君に首都圏の大学に進学する様に勧めてよかったと思えました。

現在、兵庫・大阪・奈良地区には18名の在籍者がおります。しかしな

がら、兵庫・大阪で18名で奈良県下の御子弟はおられません。現状では大阪を中心に支部活動を行おうと思っております。年齢だけは食っていても、何分にも初めての経験でもありますので、関係者の皆様のご指導とご協力をお願いする次第です。

11月の支部長研修を通して思ったことは、大阪府・兵庫県にも多くの学校・キャンパスはありますが、文教大学の恵まれた教育環境と関係者のご努力には頭が下がる思いであります。微力ではありますがこの会の為に尽力したいと思っております。

参考資料

	教育学部	1							1	年
	人間科学部					1				2
	文学部				1					3
	情報学部					1				4
	国際学部		1							合計
	健康栄養学部	1								
兵庫県		3								
大阪府		2								
奈良県		2								
		4								
		11								

支部を訪ねて 文教大学学園理事長より

父母教は学園の「宝」

学園理事長 渡辺 孝



先日、父母教の某支部総会の個人面談後の懇親会で、あるお母様がこう

話された。「うちの息子は単位があまり取れていないようだ。このままで本当に卒業できるのか非常に心配。今日はその辺について湘南の先生から直接話を聞きたかったが、教員の方がおられず非常に残念」

当日、越谷からは教員も出席していたが、湘南からは諸般の事情から教員の出席は無かったのである（代わりに担当課長が個人面談を実施）。お母様が大変心配のご様子であったので、懇親会終了後、湘南校舎の元教員でもある小生が急遽、そのお母様から30分ほどお話を伺った。帰宅後直ちに当該学部の教務委員長に連絡を取り、協力を仰いだ。その教員は翌日当該学生と面談を実施。その結果、次のようなことがメ

ールでお母様や小生に伝えられた。

「半年ほど前に面談した折は、余り元気が無かったが、今はゼミも決まり、大変元気にゼミの事前活動に参加。直近の学期ではかなり多くの単位を修得しており、いわゆる『V字回復』の兆しもある。親御さんの方でも是非本人を褒めて欲しい。私どもも精一杯のサポートをしていきたい」

これをお聞きになったお母様からは「安心した。迅速な対応に感謝します」との返信を頂いた。

長期不況に伴う就職難等から、親御さん達の心配は一昔前に比べ格段に大きくなっている。学生に対する教育や就職支援については学園が全力をあげて取り組む必要があるが、保護者の方々も是非父母教を積極的にご活用願いたい。

今回の件でも明らかのように、父母教は保護者の方々と学園教職員とを結ぶ重要な結節点。文教大学学園の「宝」である。学園は今後も父母教の活動に積極的に協力していく所存である。

支部派遣教職員報告

その⑨

「三支部の研修会に参加し」

越谷キャリア支援課長

石田 知子



2月2日、雪がほとんどないまさに青天の山形市で、35名の皆様の

を基に説明。越谷校舎は1年間の結果を基に現場ならではの話をさせていただいた。懇親会では一人一人の自己紹介がプライベートも含み、すっかり本音の会になり、全員が幾度も熱い想いにさせられた素晴らしい会となった。

参加のもと山形県支部研修会がスタート。湘南校舎西澤さんの乗りの良いお話で一気に雰囲気は和み、すぐに話は佳境に到達。越谷校舎は石田が1年分の総括資料を基に、現場の実態を、教員就職を中心にお話しをさせていただいた。低学年の方々の参加が多く、4年間を大切にそしてその先にある就職もしっかり準備させたいという想いを強く感じた。懇親会は盛り上がり、元氣な山形人に圧倒され、負けてはいられないと私どもが気合を入れ直した一日となった。

2月16日、旗の台の工事中の建物の一角で行われた東京都支部研修会では、理事長の「国内外経済の動きと現政権について」で分かり易い解説に、多数の質疑応答で時間が足りなかつた程。湘南校舎は、伊藤課長が求人倍率と就活学生の様子など図表

2月24日、男体下ろしがびゅんびゅん吹く宇都宮市で栃木県支部研修会が開催された。寺澤先生は文学部就職支援方針と今年度の結果・次年度目標、実施内容の具体例を説明され、教員と学生の進路支援関係が密接に構築されている様子を紹介。湘南校舎からは伊藤課長、越谷校舎からは石田が今年度結果とそこに至るまでの支援内容・学生の様子・支部長研修会の講話等も入れ話しをさせて頂いた。厳しい質問を頂いたおかげでより深い質疑応答に繋げることができた

三支部共に創意工夫に溢れる研修会であり、会員・役員の相互信頼と役員のチームワークの良さ・地道な努力の賜が随所に感じられた。ここで作られた力を一つ一つ学生の結果に必ず繋げて行きたいと思つた次第である。感謝。

学内訪問 どんなにいい？

より積極的な学習へ

図書館課長 小林 年春

湘南図書館のラーニングスクエアに入ったとき、ビックリする人が多いのではないか、と思っ

窓際のパソコンの席に座っている学生。勾玉の形をした机の上でノートパソコンを使いながら話をしている学生達。ホワイトボードに書き込みながら話し込んでいる学生達。

奥の仕切られたコーナーではプレゼンテーションの準備をしている学生グループの姿が見られたりもします。周りを見回しても、書架はなく図書の姿は見えません。もちろん、本が必要であれば、閲覧室に取りに行くこともできます。

この場所はこれまでの図書館の姿とは全く違っています。それでも図書館なのです。

図書館、というと本を読む場所と思いがちですが、もともと図書館はそれ以外のこともできる場所でした。それを目に見える形にしてみました、というわけです。

なぜこのような場所が必要なのでしょう

父母と教職員の会による 父母のための一日大学 スケジュール

開催日：平成25年6月2日(日)

湘南キャンパス

於：文教大学湘南校舎

9:50~	受付開始				6号館1階国際学部入口	
10:30~11:30	① 学科別 父母会員と教職員の懇談会					
	情報学部	広報学科	6109	国際学部	国際理解学科	6107
		経営情報学科	6105		国際観光学科	6108
	情報システム学科	6104	健康栄養学部	管理栄養学科	6103	
11:40~13:00	② 父母会員と教職員の懇親会 吹奏楽部の演奏 ※アルコール飲料は用意しておりません。				食堂2階	
13:10~14:10	③ 全体会講演「青少年のインターネット利用の現在」 情報学部准教授 池辺 正典				6101	
14:20~15:20	④-1 講話「国際化時代の穀菜果食」		健康栄養学部講師 岩井 達			
	④-2 竹林ゼミ「~独創性のある映像作品の制作に挑む~活動状況と就職実績について」		情報学部准教授 竹林 紀雄			
	④-3 高井ゼミ発表「Journey in Japan: 外国人旅行者の視点で見つめ直す日本」		国際学部准教授 高井 典子&ゼミ学生			
	④-4 国際学部短期留学プログラム紹介~概要とその魅力		国際学部准教授 千葉 克裕&学生			
15:30~16:30	④-5 学内見学ツアー 1便 (※コース)					
	学内見学1					
15:30~16:30	⑤-1 学内見学ツアー 2便 (※コース)					
	学内見学2		⑤-2 「就職活動におけるご父母の心構え」		キャリア支援課	

※スタジオ、メディア棟、外国語ラウンジ、図書館、太陽光発電パネル、キャリア支援課、健康栄養学部施設など

越谷キャンパス

於：文教大学越谷校舎

9:30~	受付開始				[正門前 3号館入口]
10:30~12:00	教室別懇談会				[各教室]
12:00~13:00	昼食会				[学生食堂1階]
13:15~14:15	講話 ①「現代文字事情~文字を正しく書けていますか？」		文学部	豊口 和士先生	[12101教室]
	②「進路の現状と支援について」		就職委員長・人間科学部	石橋 昭良先生	[13101教室]
14:30~15:30	③「ゆとり教育と大学生~生涯学習の観点から」		人間科学部	青山 鉄兵先生	[12101教室]
	④ クラブ・サークル発表		[13101教室]		
13:15~15:30	⑤ コーラス・ワークショップ 教育学部 三谷 亜矢先生				[511教室他]
声楽がご専門の三谷先生のご指導で、一日大学参加者と学生有志とで合唱曲を仕上げ、懇親会においてその成果を発表していただくというワークショップです。					
15:45~17:15	父母と教職員の懇親会(茶話会) (含むコーラス・ワークショップの成果発表)				[学生食堂2階]



湘南図書館

学生にとって必要なレポート作成を例に取ってみましょう。
これにはいくつかの関門があります。必要な資料をどのように集め、使いやすくするかを考えなくてはなりません。レポートの書き方も覚えなくてはなりません。
こういったことを、すべて自分で解決していくのは大変です。
そこで、レポートの作成法についての相談ができ、レポートが書ける場所が必要になってきます。それがラーニングスクエアなのです。
この場所は、また図書館員と学生との交流の場でもありたいと思っています。それによって、充実した学生時代を過ごしてほしい、というのが湘南図書館の願いです。



湘南 平成25年度行事予定

4.1~	在学生・新入生オリエンテーション、健康診断
4.4	入学式（有楽町・東京国際フォーラム）
4.12	春学期授業開始
6.1	父母と教職員の会 第28回代議員会（越谷校舎）
6.2	父母のための一日大学（湘南校舎）
7.29	春学期授業終了
7.30~8.5	春学期定期試験
8.6~8.24	夏季休業
9月上旬	会報108号発行予定
9.3	4年生春学期成績発表
9.4	1~3年生春学期成績発表
9.23	秋学期授業開始
10.17	創立記念日
10.25~10.28	饗塔祭
11.9~10	父母と教職員の会 支部長研修会（湘南校舎）
11.17	推薦入学試験
12.23	授業終了
12.25~1.7	冬季休業
12月下旬	会報109号発行予定
1.9	授業再開
1.27	秋学期授業終了
1.25~2.3	秋学期定期試験
2.1	地区入学試験
2.7~2.9	A日程入学試験
2.21	4年生秋学期成績発表
3.6	B日程入学試験
3.8	1~3年生秋学期成績発表
3.10	卒業生発表
3.19	卒業式
3.20	春季休業開始
3月下旬	会報110号発行予定

〈太字は父母教関係〉

越谷 平成25年度行事予定

4.1~4.5	新年度オリエンテーション・健康診断期間
4.4	入学式（有楽町・東京国際フォーラム）
4.6	春学期授業開始
5.14	新入生歓迎スポーツ大会
6.1	父母と教職員の会 第28回代議員会（越谷校舎）
6.2	父母のための一日大学（越谷校舎）
6.5	春学期学友会総会
7.26	春学期授業終了
7.27~8.2	春学期定期試験
8.10~9.4	夏季休業
9月上旬	会報108号発行予定
9.5	成績発表
9.14	秋学期授業開始
9.25	9月期卒業式（予定）
10.16	体育祭
10.17	創立記念日
10.31~11.4	藍蓼祭
11.9~10	父母と教職員の会 支部長研修会（湘南校舎）
11.16~11.17	推薦入学試験
12.3	秋学期学友会総会
12.21	授業終了
12.24~1.8	冬季休業
12月下旬	会報109号発行予定
1.9	授業再開
1.18~1.19	大学入試センター試験
1.27	秋学期授業終了
1.28~2.3	秋学期定期試験
2.1	地区入学試験
2.7~2.10	A日程入学試験
2.18	4年生成績発表
3.6	B日程入学試験
3.8	卒業審査会
3.10	卒業生発表
3.16	卒業式
3.17	春季休業開始
3月下旬	会報110号発行予定
3.31	1~3年生成績発表（予定）

〈太字は父母教関係〉



新シリーズ③

文教大学での35年の教員生活で考えたこと

女性と仕事

文教大学学長 大橋 ゆか子



連載の最後は、「女性と仕事」について書いて見ます。

今年の夏、ア

メリカの月刊誌に「女性はいまだに全てを手に入れることができないのか」という論文が掲載され話題を集めました。筆者はアメリカ国務省の要職を勤めた2児の母で、「社会、経済構造が変わらない限り、アメリカで女性が仕事と育児を両立させることは不可能」という内容でした。日本の新聞にも紹介され、「女性の社会的進出が進むアメリカでも両立が不可能なら、いったい日本では」と書いてありました。皆さんは日本の女性の状況をどう考えますか。日本の場合、会社の管理職にいる女性は2008年データで女性就業者総数の9%であり、57か国の平均値30%と比べて、大変低い数値です。

私が大学院を終える頃、男子学生と一緒に企業の中央研究所を訪問し

ましたが、そこで「うちは研究職として女性は採らないから」と言われ

ました。戦後の男女同権の教育を受けてきた私にとって、始めて出会った明確な男女差に関する発言でした。40年たつて、日本は変わったでしょうか。企業でも産休、育休や時間短縮の制度が整備され、零才児を預かる保育所が増え、男性が育児や家事に協力的になったことなど、条件は大分変化化したと思います。企業に勤めている私の娘が、子供を3人産んで勤めを続けています。これを見ると、遅々とした変化に見えただれど、日本の法整備が進んだことを実感します。

「女性と仕事」について考える時、使われるデータが示すものと、自分が実感してきたものと何か違うと感じています。

女性が子供を産んでから働き続けるには、第一に保育所が必要ですが。保育所数はまだ十分ではありませんが、アメリカと比べると日本は、公立・私立保育所の数や、保育内容、保育料が格段に整備されています。アメリカでは、保育も個人的

に解決するのが原則です。それと比べると、日本は社会が保育体制に責任をもつ方だと思えます。アメリカと比較する時、保育環境の要素が考慮されていないと感じます。

もう一つ、是非書きたいのは、日本の主婦は力を持っているということとです。世界中で開かれる国際学会に、研究者は奥さんを同伴してきます。ご主人が学会に参加している間、奥さん達は買物や観光に行きます。日本人の奥さんは気に入るとその場で買いますが、ヨーロッパ人やアメリカ人の奥さんは「主人に相談してから」と買わないことが多いです。皆さんご存じのように、日本では家計管理責任者は大抵奥さんですが、西欧ではご主人の場合が多いそうです。5年前の統計ですが、家計の主たる責任者が妻の割合は、日本67%、アメリカ30%、韓国77%となっていました。家計を管理するには子育ても含めた人生設計が必要で、当然、社会情勢や経済情勢に関心を持つことになり、社会人として自立していきます。日本の女性が十分に社会的能力を持った状態にいることは確実だと思えます。

では、日本の現状をどう思うかです。北欧は女性の社会参加促進の仕組みを作りました。1978年にノ

ールウェーで「公的機関は両性をあ

る比率で構成員にしなくてはいけない」という男女配分(クオータ)を決める制度が始まりました。国会議員のクオータ制を選挙法で定めている国が2006年時点で38カ国です。フィンランドでは2000年に国会議員の半数が女性で大統領も女性だった、26カ国以上の国の政党がクオータ制を採用している、と聞くと、日本との違いを実感します。

多様な価値観を認め合った平和な世界を作るためには、女性が社会的な場で、決定に責任を持つ構成員として働くことは必要なことであり、当然のことです。社会的構成員としての力量を既に獲得している日本の女性が、どのように日本の仕組みを変えていくかがこれからの課題でしょう。北欧は男女とも労働時間や労働形態が多様であり、夫婦で家事や育児を分担しやすい仕組みになっています。日本が目指す将来像は、今の労働形態のまま、女性が無理してでも社会的地位を獲得する事ではなく、女性が男性とともに社会と家庭を担っていくことができる労働の価値観や仕組み造りをする事ではないでしょうか。



学生活動紹介

弓道部(越谷校舎)

文学部 日本語日本文学科

2年 芳賀 悠大

今回、文教大学父母と教職員の会の会報に弓道部を紹介いただき、誠にありがとうございます。

私たち弓道部は神津玄照先生を師範に招き、4年生13人、3年生7人、2年生9人、1年生10人で活動しています。

活動場所は文教大学第3グラウンド弓道場で火曜、木曜、土曜の週3回、長期休業の場合は月曜、火曜、木曜、金曜、土曜の週5回が活動日になっています。

弓道とは、どのような競技なのかとよく質問されます。競技としては4本1セットそして何セットか行いその的中数を競うという大変シンプルな内容ですが、だからこそ奥が深いのだと思います。

大きな大会としては、春季トーナメント、全関東学生弓道選手権大会、秋季リーグです。特に、現在リーグは男子・女子ともにII部に所属しており、女子はI部奪還、男子はI部昇格を目標に日々精進してい

ます。

大学の部活動は、学生が自らの力で主体的に行っていくものです。しかし、私たちの力だけでは決して活動できることではなく、顧問や師範の先生、OB・OGの方、そして大先輩や父母と教職員の会など、周りの方々のご支援やサポートがあつてこそ学生の活動が成り立っているのだと思います。この恩を成績という形で返していけるように部員一同鍛錬を重ねたいと思います。

また、その他の学生や学生団体のよりよい活動のために、皆様のご支援、ご協力を今後ともよろしくお願ひします。



学友会(湘南校舎)

国際学部 国際理解学科 2年

学友会財務局長 佐藤 奈津子

「この大学のことを大好きになって最高の学生生活を送りたい!」そんな思いを胸に本学へ足を踏み入れたあの桜咲く寒空の日から、2年の月日が立ちました。地元北海道を出て最初は不安ばかりの大学生活でしたが、学友会役員として様々な経験ができたことが何にも変え難い糧となっていることを身に染みて感じています。

日頃私たちは大学内の学生自治組織として、部活動や公認クラブ・サークル活動の統括と管理、またそれらの団体への活動指導などを行っております。他にも主要な活動として紹介したいものがいくつかあります。

一つ目は、湘南校舎の学生向けにアンケートを実施し、教育支援課や教授の方々と学生部交渉などの機会を通じて生活向上のための提案を行う活動です。

二つ目は公認団体への学友会助成金交付と会計監査です。一年を通しての団体の活動状況や実績などを考慮した上で予算折衝を行い交付額を

決定します。決算は年2回行い、学友会費から支出する助成金や父母会からの助成金を適切な活用と運営ができるよう、各団体のお手伝いをしております。

最後に、今年度新たに立ち上げた企画局の活動についてです。企画局では大学生活をより一層充実したものにするための、学生や教職員参加型企画を行っております。過去2回大盛況のうちに終了することができました。

学友会役員一同、自身の大学生活を有意義に過ごすことを第一に考えていると同時に、文教大学の学生一人一人



が価値ある大学生生活を送れるよう今後も邁進してまいります。どうぞご期待ください。

教職員による出版物

- | | |
|--|---|
| <p>1. 青山 鉄兵 (人間科学部)
『体験の風をおこそうー体験活動の企画と展開』
(共著) 田中壮一郎編 悠光堂</p> | <p>14. 蔣 垂東 (文学部)
『明鏡日漢詞典』(中文版) (共著) 高等教育出版社</p> |
| <p>2. 赤坂 雅裕 (国際学部)
『教育原理の追求～現場で役立つ実践指針～』 DTP出版</p> | <p>15. 鈴木 健司 (文学部)
井上ひさし追悼研究『天保十二年のシェイクスピア』(共編著) 文教大学出版部
『宮澤賢治の深層 宗教からの照射』(共著) 法蔵館</p> |
| <p>3. 秋吉 美穂子
『子ども家庭情報(128)』<文献情報>日本子ども家庭総合研究所
『特集 今、改めて骨粗鬆症の重要性を考える
ー骨粗鬆症に対する栄養療法と栄養教育ー産科と婦人科79(12)』
診断と治療社
『臨床栄養管理の実際ー更年期ーチーム医療に必要な
人間栄養の取り組みー臨床栄養管理のすべてー』
第一出版</p> | <p>16. 武内 佳代 (文学部)
『<少女マンガ>ワンダーランド』(菅聡子・武内佳代・ドラージ土屋浩美編) 明治書院
『黄金の猿』(鹿島田真希著、武内佳代解説) 文春文庫(文藝春秋)</p> |
| <p>4. 阿野 幸一 (国際学部)
『英語授業ハンドブック<高校編>』 大修館書店
『阿野幸一のグラマーポイント』 NHK出版
『NHKラジオ「基礎英語3」テキスト』2012年1月号～12月号
NHK出版</p> | <p>17. 手嶋 将博 (教育学部)
『全球化時代の公民教育』(『世界のシティズンシップ教育』東信堂2007年の中国語版) 嶺井明子主編 姜英敏編訳 手嶋担当
第四节「馬來西亞：培養具有高度“国民”意識的“馬來西亞公民”
(第四节「マレーシア：“国民”意識の高い“マレーシア市民”
育成をめざして)」 广东教育出版社</p> |
| <p>5. 新井 立夫 (情報学部)
『2012年版進路アドバイザー検定公式テキスト』 大学新聞社
指導と評価2012.1特集：教師力を育てる『社会への自立を促す教師力の在り方』
社団法人図書文化協会日本教育評価研究会</p> | <p>18. 土沼 雅子 (人間科学部)
『アサーショントレーニング 自分らしい感情表現』 金子書房</p> |
| <p>6. 磯山 甚一 (文学部)
井上ひさし追悼研究『天保十二年のシェイクスピア』
文教大学出版事業部(鈴木健司、藤井仁奈との共同編著)</p> | <p>19. 永田 潤一郎 (教育学部)
『数学的活動をつくる』 東洋館出版社</p> |
| <p>7. 井徳 正吾 (情報学部)
韓国版『プロフェッショナル企画書』 Firforest
『現場感覚でわかりやすいマーケティング戦略入門』
日本能率協会マネージメントセンター
『マーケティング・リサーチ』 ずばる舎</p> | <p>20. 那須 幸雄 (国際学部)
『マーケティングの理論と実践ーシリーズ現代の流通第2巻ー』
五紘舎</p> |
| <p>8. 謡口 明 (文学部)
時代を超えて楽しむ『論語』 朝倉書店</p> | <p>21. 那須 一貴 (国際学部)
『営業は“ストーリー”で売れ』 ぱる出版</p> |
| <p>9. 奥田 孝晴 (国際学部)
『三訂版グローバルゼーション・スタディーズ』(共著) 創成社</p> | <p>22. 成田 奈緒子 (教育学部)
『早起リズムで脳を育てる』 芽ばえ社
『すくすくげんき、脳とこころ 0さいのおけいこ
1さいのおけいこ 2さいのおけいこ 3さいのおけいこ』
ポプラ社
『NIRSー基礎と臨床ー』 新興医学出版社
『発達障害支援ハンドブック』 金子書房</p> |
| <p>10. 北野マグダ・レーナ (国際学部)
『NEW HORIZON English Course 1・2・3』 東京書籍</p> | <p>23. 二村 英幸 (人間科学部)
『心理学教育の視点とスキル』
(日本心理学会心理学教育研究会編) ナカニシヤ出版</p> |
| <p>11. 酒井 信 (情報学部)
『IT時代の震災と核被害』(電子書籍版)
インプレスジャパン</p> | <p>24. 柳田 孝義 (教育学部)
『名曲で学ぶ対位法』 音楽之友社
『秋のエオリア』 カファレコード</p> |
| <p>12. 佐久間 勲 (情報学部)
『心理学研究法5 社会』 誠信書房</p> | <p>25. 吉田 正生 (教育学部)
『社会科教授用図書におけるアイヌ民族関係記述の生成と展開』
風間書房</p> |
| <p>13. 城生 佰太郎 (文学部)
『日本語教育の音声』 勉誠出版
『日本語教育の語彙』 勉誠出版</p> | |

文教大学生涯学習センターからのお知らせ

生涯学習センターでは、下記の講座を開講します。学内で格安に受検できる検定資格試験、対策講座もご用意していますので、ご子女にもお勧めください。「文教大学父母と教職員の会」会員本人（会費をお支払いいただいている方のみ）及びその子女が受講される場合は、受講料の一部（受講料の1割程度／上限4,000円）が「父母と教職員の会」から援助されます。皆様の受講をお待ちしています。

資格取得講座・検定試験（学生対象）		文教大学オープンユニバーシティ	
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">越谷キャンパス</div> <p>◆資格取得講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秘書技能検定対策 ＊日商簿記検定対策 ・保育士試験対策 ・Excel表計算処理技能認定対策 ＊TOEIC対策 ＊医療事務対策 <p>◆検定試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Excel表計算処理技能認定試験 ・TOEIC IPテスト ・日本漢字能力検定 ・日本語検定 ・秘書技能検定 <p>◆実用語学講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊英会話 ＊中国語 ＊韓国語 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊手話会話入門 	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">湘南キャンパス</div> <p>◆資格取得講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊秘書技能検定試験対策（準1級・2級） ・日商簿記検定試験対策 ・Word文書処理技能認定試験対策 ・Excel表計算処理技能認定試験対策 ・旅行業務取扱管理者試験対策 ＊販売士検定試験対策（2級・3級） ・TOEIC対策 ＊医療事務 <p>◆検定試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Word文書処理技能認定試験 ・Excel表計算処理技能認定試験 ・旅行地理検定（国内・海外） ・世界遺産検定 ・TOEIC IPテスト ・実用英語検定（英検） ・日本漢字能力検定（漢検） ・日本語検定 ・秘書技能検定 ・日商簿記検定（外部会場） <p>◆実用語学講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊キャリアイングリッシュ講座 	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">越谷キャンパス</div> <p>◆特別講演</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習のススメ <p>◆特別講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 6講座開講予定 <p>◆教養講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 約20講座開講予定 <p>◆実用語学講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英会話・中国語・韓国語 ・外国人のための日本語 <p>◆趣味講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラ講座 ・囲碁・書道・ペン字 ・気功・太極拳 ・ヨガ・フラメンコ ・ポル ド ブラ <p>◆親子科学教室</p> <p>◆パソコン講座</p> <p>◆資格取得講座</p> <p>◆子育て支援カウンセリング講座</p> <p>◆文教大学市民フォーラム</p>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">湘南キャンパス</div> <p>◆教養講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 18講座開講予定 <p>◆実用語学講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアイングリッシュ講座 ・トラベルイングリッシュ <p>◆パソコン講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Excel VBA プログラム入門講座 <p>◆趣味講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書道・ペン字・絵画 ・カリグラフィー（西洋書道） ・ラジオパーソナリティーと楽しむ 昭和歌謡 <p>◆資格取得講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秘書技能検定試験対策（2級） ・医療事務 ・販売士検定試験対策（3級）
＊の講座は一般の方も受講できます。			

現職教員対象講座

教員免許状更新講習	平成25年度も越谷キャンパス及び湘南キャンパスで開講します。3月28日より受付開始予定です。詳しくは本学のHPをご覧ください。	越谷：6～8月 湘南：7・8月
ICT活用講座 デジタル教科書とiPad	デジタル教科書の動向と授業実践を紹介するとともに、iPadの基本的な操作の習得とその応用としてのアプリ作成を通して、教育におけるデジタルの可能性について検討します。	5月11日（土）
学級づくりセミナー	多様な立場から学級づくりの理論と実践について幅広く学んでいただける内容を、ゲスト講師も迎えて提供します。	8月21日（水）
コミュニケーション発達支援セミナー	支援が必要な子どもたちへの理解を深め、具体的な支援方法について学んでいただくための講座を、ゲスト講師も迎えて提供します。	10月19日（土）

お問い合わせ・資料請求

TEL：0120-160-449 ☎ <http://www.bunkyo.ac.jp/stf/shougai/>
E-mail: shougai@stf.bunkyo.ac.jp

アクセスしたくなるHPを目指して

活動充実強化特別委員

東京都支部 庭野 正和

父母教ホームページ（HP）をご覧いただけましたでしょうか。簡単ではなかったと推察します。なぜならば、私自身、文教大学HPを開いて、そのトップページに「父母と教職員の会」というリンク先が簡単に見つかり、アクセスできると考えていたからでした。しかし、現実には簡単ではなかったのです。どこを見渡しても「父母と教職員の会」の文字やアイコンが見つからないのです。その先はもうイライラするばかりで、結局は検索機能を使って「父母と教職員の会」に辿り着かなければなりません。こうした苦勞をすると、再び開いてみようという意欲は激減してしまいます。

そこで、活動充実強化特別委員会ではHPのより易しいアクセスの方法について、是非改善をしていきたいと思います。というプラス思考で検討を開始しました。①大学トップページに見付け易いアイコン ②日本地図から各支部の活動状況を知る ③学生と父母にとって利益となる情報のリアルタイム掲載などを目指して参

ります。積極的なご意見をお待ちしております。

国際学部推薦入試生

保護者対象説明会の実施

国際学部教授 奥田 孝晴

2013年1月26日（土）、国際学部では恒例となつた2013年度推薦入試合格生の保護者皆様を対象とした説明会を実施致しました。同会は今年で5回目の実施となりましたが、入学を前にした保護者皆様の不安を少しでも払拭すべく、学部長はじめ関係の教職員より学部での学びの在り方、学部・学科の特徴、単位履修修得の進め方、将来の就職を念頭に入れたキャリア指導の在り方等について説明をさせていただきました。また、協賛の父母教本部からは小林正信副会長にご参加いただき、本会の活動・意義紹介、そして会への積極的な参加を要請していただきました。参加された66家族・約140名の保護者、合格者皆様と大変有意義な機会が持てたことを嬉しく思うとともに、ご協力をいただいた関係皆様には誌面をお借りして心よりの感謝を申し上げます。

平成24年度 課外活動表彰者一覧(敬称略)

《湘南キャンパス》

◇個人／本部役員

豊田 旭
新倉 めぐみ
小林 一哉
小田 知典
中村 衣里

◇団体

バドミントン部
軟式野球部
ライフセービング部
和太鼓サークル楓
弓道同好会
吹奏楽部
演劇部
アカペラサークルCYAN
放送部

《越谷キャンパス》

◇個人／本部役員

小淵 昂希
坂入 浄偉
田中 綾子
高野 景子
二渡 紗織
新澤 舞
工藤 康平
浜田 一樹
中村 咲紀
中村 咲紀
富岡 美由希
宮島 友洋

◇個人

姉崎 壮一郎
阿部 愛
堀切 奈津美
片倉 里沙
阿久津 健司
酒井 幸
中澤 美幸

◇団体

女子バレーボール部
女子ソフトテニス部
男子バレーボール部
男子ソフトテニス部
卓球部
スキー部
合唱団コールリント
吹奏楽部

◇学外指導者表彰／個人

石野 浩 靖

援助金のお知らせ

父母と教職員の会の会員と会員の子女（学生）に対して、下記の要領でキャリア支援課、生涯学習センターでの講座・講習会の費用の一部が援助されます。

- ・援助金は、各講座・講習会の1割程度とする。ただし、上限は4,000円。(テキスト、試験代などは援助の対象外。)
- ・援助金は、学生証及び受講講座の領収書を父母教事務局に提示することで受けられる。
- ・年度内(各年度の4月1日～3月31日まで)であれば、何度でも受けられる。

皆さま、どしどしご活用ください。何かご不明な点がございましたら、越谷・湘南各事務局へお問い合わせください。

【県人会についてのお知らせ】

皆様のお子様の中に、県人会の役員をされている方はいらっしゃいますか？ 県人会開催時などに父母教でも何かお手伝い出来ることがあるかと思えます。是非ご一報を。

編集後記

平年より寒かった冬が終わり、急に暖かくなりました。越谷校舎の前の元荒川の桜も咲き花筏となり、湘南の海も春の光に輝いています。もうすぐ一年生も入学して、賑やかなキャンパスがはじまります。